

製品名: アポ E ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07036**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	APOE
別名	APOE; Apolipoprotein E; Apo-E
遺伝子 ID	348.0
SwissProt ID	P02649
免疫原	ヒト ApoE の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

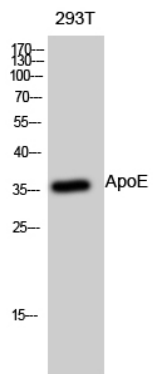
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カイロミクロンの主要なアポタンパク質です。肝臓および末梢細胞の特異的受容体に結合し、トリグリセリドに富むリポタンパク質構成成分の正常な異化に不可欠です。この遺伝子は、関連するアポリポタンパク質

C1 および C2 遺伝子とともに、19 番染色体上のクラスターにマッピングされます。この遺伝子の変異は、家族性異常 β リポタンパク質血症、または III 型高リポタンパク質血症 (HLP III) を引き起こします。この疾患では、カイロミクロンおよび VLDL レムナントのクリアランス障害の結果として、血漿コレステロールおよびトリグリセリドが増加します。[RefSeq 提供、2016 年 6 月]、疾患: APOE の欠陥は、家族性異常 β リポタンパク質血症としても知られる III 型高リポタンパク質血症[MIM:107741]の原因です。高リポタンパク質血症 III 型の臨床的特徴は、黄色腫、掌側皺の黄色がかかった脂質沈着、または腱や肘のそれほど特異的ではないが、腱や肘の黄色がかかった脂質沈着である。男性では、20 歳代までに発症することは稀である。女性では、通常、閉経後にのみ発現する。患者の大多数は、APOE*2 アレルのホモ接合体である。高リポタンパク質血症 III 型のより重篤な症例は、まれな APOE バリエーションのヘテロ接合体を持つ人でも観察されている。APOE が脂質レベルに及ぼす影響は、冠動脈疾患 (CAD) のリスクに大きな影響を与えたとしばしば示唆されている。一般的な APOE*4 バリエーションを持つ人は、CAD のリスクがより高い。疾患: APOE の欠陥は、リポタンパク質系球体症 (LPG) の原因である[MIM: 611771]。LPG はまれな腎臓疾患で、タンパク尿、進行性腎不全、系球体毛細血管内の特徴的なリポタンパク質血栓を特徴とする。主に日本人と中国人に発症する。白人でこの疾患が報告されることはほとんどない。疾患: APOE の欠陥は、青色組織球症とも呼ばれる sea-blue histiocytosis [MIM:269600] の原因である。この疾患は、脾腫、軽度の血小板減少症、および骨髄中に通常の血液染色で鮮やかな青色に染まる細胞質顆粒を含む多数の組織球を特徴とする。この症候群は、ゴーシェ病やその他のスフィンゴリピドーシスに類似した遺伝性の代謝欠陥の結果である。疾患: APOE*4 アレルは、晩発性アルツハイマー病 2 型 (AD2) [MIM:104310] と関連している。APOE*4 アレルは、家族性および散発性の晩発性アルツハイマー病 (AD) によく見られる遺伝的関連がある。晩発性 AD の 42 家系において、APOE*4 アレル数の増加に伴い、AD リスクは 20% から 90% に増加し、平均発症年齢は 84 歳から 68 歳に低下した。したがって、APOE*4 遺伝子量は晩発性 AD の主要な危険因子であり、これらの家系では、APOE*4 のホモ接合体は 80 歳までに AD を引き起こすのに実質的に十分であった。APOE*4 が病態形成に関与するメカニズムは不明である。機能: リポタンパク質粒子の結合、内部移行、および異化を媒介する。アポリポタンパク質 E は、LDL (アポ B/E) 受容体および肝組織の特異的アポ E 受容体 (カイロミクロンレムナント) のリガンドとして作用します。オンライン情報: アポリポタンパク質 E のエントリ、オンライン情報: Tangled - 2007 年 6 月発行第 83 号、オンライン情報: シンガポールヒト変異および多型データベース、多型: 3 つの一般的な APOE 対立遺伝子が同定されています: APOE*2、APOE*3、および APOE*4。対応する 3 つの主要なアイソフォームである E2、E3、および E4 は、等電点電気泳動後の相対的な位置に応じて認識されます。等電点電気泳動後に同じ移動パターンを引き起こす異なる変異は、異なるアイソフォームサブタイプを定義します。最も一般的なアイソフォームは E3 であり、人口の 40~90% に存在します。一般的な APOE 変異体は、健常者のリポタンパク質代謝に影響を与えます。PTM: 健常者の血漿 VLDL では糖化されており、高血糖の糖尿病患者ではさらに高レベル (2~3 倍) で糖化されています。PTM: O-グリコシド結合によってシアリン酸が付加された状態で合成され、その後、血漿中で脱シアリル化されます。類似性: アポリポタンパク質 A1/A4/E ファミリーに属します。組織特異性: 血漿中のすべてのリポタンパク質分画に存在します。超低密度リポタンパク質 (VLDL) の 10~20%、高密度リポタンパク質 (HDL) の 1~2% を占めます。APOE はほとんどの臓器で産生されます。肝臓、脳、脾臓、肺、副腎、卵巣、腎臓、筋肉で大量に産生されます。、

研究分野

アルツハイマー病;

画像データ



1: 500 に希釈した ApoE ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析